

令和6年度第1回 上総小櫃中学校区学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和6年6月11日（火）午前9時45分～11時
- 2 開催場所 上総小櫃中学校 図書室
- 3 公 開 公 開・一部公開・非公開
- 4 出席者 委 員 小沢委員、三橋委員、田中委員、潤米委員、宮越委員、石井委員
平田委員、牧野委員、松井委員、栗原委員、木下委員、近藤委員
本橋委員
事務局 伊澤教頭（小櫃小学校）、齋藤教頭（上総小学校）、
飯田教頭（上総小櫃中学校）
教育委員会 粕谷教育長、塚越生涯学習文化課長、柴田社会教育主事、
榎本社会教育指導員
- 5 傍聴 なし

1 開会

2 校長あいさつ（木下小櫃小学校長）

3 委員職員自己紹介

（名簿の順に委員、事務局それぞれ自己紹介を実施）

4 会長及び副会長の選出

・下記のとおり決定。

会 長 三橋一文さん

副会長 田中雅子さん

5 コミュニティ・スクールについて

（生涯学習文化課柴田社会教育主事より資料のとおり説明）

6 協議

・三橋会長の進行により協議を進めた。

（1）今年度の活動について

（①活動方針、②活動計画、③広報活動について、事務局より説明）



●主な意見

- ・ようやく学校運営協議会がスタートしたので、今後は懇談会なども開催しながら学校や家庭、地域が抱える課題について共有をしつつ、協議テーマ等について考えていければと思います。
- ・コミュニティ・スクールについて、保護者や地域のみなさんに十分に知られていないことから、様々な活動の中でコミュニティ・スクールを話題に出していくことで周知が図れたらと思います。
- ・それぞれの委員が地域の中でコミュニティ・スクールを話題に出しながら、そこで聞いた意見などを持ち寄ることで、学校運営協議会と地域の人をつなげていくことができると思うので、それぞれの委員がこのような認識を持って取り組むことも大切だと思います。

(2) 学校運営方針について

(学校区の共通目標のほか、各校の運営方針について各校長から説明)

- ・学校運営方針について全会一致で承認された。

●主な意見

Q： 学校要覧を見ると、「1学期、2学期、3学期」と「前期、後期」という表現があります。例えば中学校の年間行事では中間テストが6月、期末テストが9月であり、その辺りについて伺えればと思います。

A： 今年度から上総小櫃中学校は前期、後期制にしました。昨年度まで本校は3学期制でしたが、市内他の中学校で共通して、通知表を年に2回配付するということになりました。

小櫃小学校も3学期制を維持していますが、昨年度から市内の学校の様子を見ると、通知表を年に2回にしたという学校が増えていまして、両小学校は一昨年から前期、後期で通知表を渡していました。今後、本校でも前期、後期制に改めるか検討をしている状況ですので、若干表現が異なっているということになっています。

上総小学校は、開校から前期、後期制で取り組んでいます。

●主な意見

- ・学校運営協議会の場で、学校運営の評価などに取り組んでいくのはいいですが、今年度のコミュニティ・スクールの成果や結果についてどのような形で出していくべきなのかが課題だと思っています。

すでに地域で様々な活動が行われている中で、「コミュニティ・スクールで何をしました」ということの説明が難しいのではないかと感じています。ですから、学校が本当に困っていることを学校運営協議会で話していただき、その解決の方向性を話し合っ、それを保護者や地域のみなさんに発信していくことで認知度が上がってくるのではないかと考えました。コミュニティ・スクール推進委員会でも話された教職員の負担を減らしてあげたいという思いや個人的にですが、中学生がもう少しボランティア活動に参加できるような体制づくりができればという思いを持っています。このような点についても次回以降話をしていければいいのではないかと考えています。

こういったことも含め、どのようなスケジュールで話し合いを進めていくのかということについても整理をしておくことが大切だと思います。

(終了)